

プラズマ・核融合学会誌

第96巻第2号

2020年2月

解 説	超並列粒子法シミュレーションプログラム自動生成ツールの紹介 ～並列プログラミングが初心者にもできる!～ …………… 野村昂太郎, 沼田龍介, 八柳祐一, 行方大輔, 岩澤全規, 牧野淳一郎	57
小 特 集	マルチスケールの視点からの各種脆性改善手法とその最新研究 ～脆性材料・タングステンに韌性を付与するために～ 1. はじめに …………… 能登裕之 65 2. 合金化と微細組織制御によるタングステンの脆性改善 …………… 長谷川 晃 66 3. 粒界強化ナノ組織 W-1.1%TiC 合金 …………… 栗下裕明 70 4. 高密度タングステン合金「ヘビーアロイ」の応用展開 …………… 案浦康德 77 5. まとめ …………… 能登裕之 81	
研 究 論 文	フェムト秒レーザーアブレーションの軟 X 線時間分解計測 …………… 長谷川 登, 錦野将元, DINH Thanh-Hung, 石野雅彦, 南 康夫, 末元 徹	83
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト……………		89
本 会 記 事	……………	89
	学会賞候補者の募集について/Plasma and Fusion カレンダーのご案内	
インフォメーション	……………	90
	幅広いアプローチ活動だより(83) 【会議報告】第61回アメリカ物理学会プラズマ物理分科会 (APS-DPP) 年会/72nd Annual Gaseous Electronics Conference (GEC) 報告/第12回アジアプラズマ・核融合学会 (APFA) 会議	
編 集 後 記		

表紙の絵

乱流プラズマにおけるイオン飽和電流揺動及びその Dynamic Mode Decomposition (DMD) の時空間パターン. 九州大学の直線乱流プラズマ装置 LMD-U では周方向プローブアレイ計測にてストリーマの形成が同定されている. この多点時系列データに DMD を適用した. DMD モードの選択にスパース推定を用い, ストリーマの特徴的構造を抽出することに成功した. (Akira KUSABA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 15, 1301001 (2020) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.